

「武庫川総合治水の推進」説明会 三田市会場での主な当日発言

	発 言 内 容
1	<ul style="list-style-type: none"> ● 説明が、莫大で早口なのでわかりにくい。聴いていて、総合治水は難しいのでどうなるのか、悲観的になった。新規ダムしかないと思った。穴あきダムで試験湛水の期間は、新聞記事では1ヶ月とあった。ダム以外の工事中の環境破壊もあるので話して欲しい。 ● 三田市で水害のことと言えば、下流域の話。下流域の宝塚、西宮市、尼崎等の防災のために、三田市が果たす役割がもとめられている。下流部の人は、三田市に何をしてくれるのか。 ● 明石の漁港の漁民が山に木を植えている。上下流での連携が必要なのでは。 ● 三田にとって総合治水は、どういったメリットがあるのか。私は農家をやっているの、困っているのは、イノシシ、鹿、もぐらの被害が問題である。昔、畔道は人等により踏み固められていたが、今では、畔を補強するが、もぐらが穴を開けている。農業が機械化されているので畔が閉め固まっていない。畔を30cmから50cmに嵩上げして、中にもぐらが穴をあけないようにコンクリートで補強してくれるのであればOKである。 ● 堰板の話は、土地改良後で3反の田んぼで水を落とす箇所は2箇所ある。水深20cmだと半日かかる。水の量は多い。雨の降る6月から9月は、水深50cmで稲だと根腐れしない。花が咲く時はだめ。そのときは、稲は高さが1mで水深が50cmで支障はない。米の値段が1万円から7千円に下がっているので補償をしっかりと理解してもらえるのでは。縄文、弥生時代のように環濠集落の周りに堀を掘って、イノシシと鹿用に3mの深さの堀を掘って、忍び返しを電気柵等で1mつくる。その3mの深さに水を貯めて排水溝は小さくて良い。何カ所かつくればよい。そうすれば話が進むのではないか。 ● 印象にあるH.8.8.28の集中豪雨では、時間雨量60mmの雨が、青野、母子等で降った。田んぼが内水で浸かった。いのししの電気柵もショートした。H.8.8.28の方が23号より被害が大きかった。我々は洪水と思っているが、県はそうではないのではないか。高水は甲武橋が中心であるから。その時、三田市街地は10cm程度浸水した。私たちのところも遊水地になったが、稲の被害はなかった。(篠山市)当野は土砂で大変だった。水田の災害復旧は、7割しか補助がでない。そのあたりを何とかして欲しい。老朽ため池も、7割しか県の補助がでなく、復旧費3000万のうち900万を地元負担したが大変。 ● ため池の水を減らす効果は、現在、4割近い減反で水の使用量も4割余裕がある。地元負担を全て、県が持ち、契約を交わし、堰板をなくして、穴を開けておけば1mを買い取ることは可能。老朽ため池の整備を総合治水対策に組み込んで。水を三田市から県に買い取りの契約をして、地元はため池の草刈り等の恒久化を行えば、やりやすいのでは。三田の農地の住民にとって、下流の洪水のお手伝いをするには、私たちが困っていることを考えればよいのでは。そうすれば、関心が高まるのでは。

「武庫川総合治水の推進」説明会 三田市会場での主な当日発言

	<ul style="list-style-type: none"> 流域委員会の委員が25名いるので、説明会に委員が参加されていたら少しニュアンスが変わるのではないかと。教育再生会議みたいになる。委員の意見がより伝わりやすいのでは。
2	<ul style="list-style-type: none"> 私はサラリーマンです。良くできている、パンフレットを見て、今日の説明会に来ないといけないと思った。 農家の水田貯留や学校は、2~3%の効果であるが、砂がたまって深刻だと思う。一般住民の関心が低い。それぞれの利害関係者に対しての切り口で説明するとわかりやすいのでは。プレゼンはOKであるが、治水以外の切り口は少ない。水田面積は大きいので50cmは効果があるが、補償がいる。しかし、補償費がどれくらいかかるかわからないので判断は難しい。 3,449m³/sは、もう何割か余裕を持っていた方が良いのでは。
3	<ul style="list-style-type: none"> 青野ダム水系の話が聴きたかった。各河川（支川）の現況に興味があった。 基本的には、本流よりも支流を先に考えて欲しい。青野ダムやその他の三田市内の川の話が必要では。 三田に20年住んでいるが、ニュータウンの開発で、夕立が少なくなる、木がなくなる、里山がなくなる、降った雨がすぐに川に流れる。山間部はそうになっていない。そういった話が必要。
4	<ul style="list-style-type: none"> 提言内容のレベルが高くて、ついていけない。 治水は水を早く流すことであるが、水不足の話は、この資料になかった。 私は、洪水に関して、直接、関係ないところに住んでいる。最近、円山川で被害があったが事前に避難することで、被害が少なくなった。 30年後は、三田市の人口分布も自然環境も変わっている。30年後の視野は立派であるが、県として、短期的な3~5年のスパンの計画も平行して必要と思う。
5	<ul style="list-style-type: none"> 各対策については、いつ大雨がふるのかわからないので、できるところから実施して欲しいのが感想である。 流域対策や既存ダムの有効活用が難しいというのであれば、新規ダムの方が、簡単と思える。 新規ダムの試験湛水については、書かれていない。
6	<ul style="list-style-type: none"> 河川にそってそれぞれに人が住んでいるので、生命の安全のために、ダムで解決できるのでは。 三田駅前の浸水もなくなったので、三田は関心がないのかも。尼崎等の方々が関心がある。
7	<ul style="list-style-type: none"> 参加人数が少ないので残念。 三田は、水田農家が多いので心配である。武庫川の南と北を考えると、南に比べて北は経済的な価値が小さいかも知れないが、田んぼに水をためることに抵抗がある。畦畔の土手は高いと、畦がこわれないかの心配がある。水が浸かると稲への被害がある。20cmであるが、田んぼがつぶれないか、稲刈りの時期は、品物にならない等の心配が先にある。水田は個々の経営管理から、

「武庫川総合治水の推進」説明会 三田市会場での主な当日発言

	<p>国の集約営農の施策の中でどうやって実施するのか難しい。できるところと、できないところがでてくる。問題が出ている中で、どうやって地域や集落でできるのか、できないのか、進め方の問題がある。</p>
8	<ul style="list-style-type: none"> • 1/8, 1/30, 1/100 と言われているが、漠然としている
9	<ul style="list-style-type: none"> • 今でも三田市の藍本、上本庄、井ノ草では、昔から水田が自然の遊水地になっている。三田市の水をはかせるには、三田市より下流の高低差をつければよい。下流に一気に流れることになる。県の立場は、河川は全体を考えるべきであるが、我々は、地元のことを考えている。
10	<ul style="list-style-type: none"> • こどもの頃は田舎で、魚がいたり、川に入ったりして遊んだが、最近の三面張りのコンクリートの護岸工事が自然環境を破壊している。蛇籠工法等も行われているが工法を考えて欲しい。
11	<ul style="list-style-type: none"> • H. 11 の大雨のときに青野ダムで貯水した。ダムの放流で、一の湯で、抱えきれない石や、根っこも一緒に流れた。風船ダム（ファブリダム・転倒堰、直径 1,800mm）に 9箇所も穴があいた。ファブリの工事は県がしたが、穴の補修は受益者負担であると県に言われた。青野ダムから一の湯までの河川改修を行って欲しい。
12	<ul style="list-style-type: none"> • 問題点は説明のとおりである。学校等の利用であるが、学校・公園は基本的に、広域避難場所であり、避難する場所に水を貯めるのは、矛盾している。例として、3,449m³/s の場合は、大変な災害なのに、人が避難する場所につくるのは問題。 • 下流も大事であるが、生命が大事。水は上流から流れてくる。被害があつて、まず逃げる。提言にあつた仮設住宅の避難場所は、まずは、体育館等に逃げるのが先ではないか。 • 私は引っ越してきた人間であり、田んぼの方が言うべきであるが、豊岡で、この前の災害で田んぼがつかつた。何十年も使えなくなるのではないか。長年、田んぼを守られてきた方に簡単に水を貯めるとは、勝手すぎる。委員の中にも農家の関係の方がいると思うが。
13	<ul style="list-style-type: none"> • 大きな雨が降ると、川の水が増えるので、まず一番に、どこに逃げればよいのかと思う。今の話は、そうではなく、はるか次元の高い、将来 10、30、50 年先のお話で、表現は悪いが、おとぎ話のようである。出てきた水をどう処理するのか。川には水が流れているし、ダムにも水がたまっており、普段水が空っぽであればよいが、常に水があり、さらに水を流すのだから、ここでの事（提言）が、実現性があるのか、疑問である。降った水は、山にたまって、じわじわ地面にしみこんで流れてくる。山は、植林や木の伐採等の話があるが、ここでは出ていない。 • 水を逃がす、水を流す中で、学校、公園の広場に集める。逃がした水の二次災害もある。

「武庫川総合治水の推進」説明会 三田市会場での主な当日発言

	<ul style="list-style-type: none"> これは、ビジョンであり、費用と効果を含めて、実現性を検討すべき。兵庫県が大きなビジョンをもっている姿勢は、心強く思うが、我々が生きているうちに、どこまでできるのか疑問に思う。 今日の話は、大きな話すぎた。優先順位をつけて、これからの具体の展開に期待します。
1 4	<ul style="list-style-type: none"> 平成のはじめに、悩んだ末、地域を上げて、武庫川のショートカットに協力してきた。今日は、その関係河川の利用に関して、大勢できました。もう少し、具体的話かと思ったが、そうでなかった。 市街地周辺で少し開発が進んで、ため池が老朽化してきてどうすれば良いのか、悩んでいる。ため池をなくすと雨水の調整池の機能が低下する。かと言って、受益者がいないため池をどうすれば良いのか。費用をどう捻出すればよいのか。長く放っておくと改修にたえなくなる。具体の事業進行までの間、老朽ため池の改修に力を貸していただきたい。 犬走り（高水敷）の利用を行いたい。利用に制限を受けている。改修に協力したのに、農耕に不便。その他、市民の健康維持等のために多面的な利用を計画に組み込んで欲しい。
1 5	<ul style="list-style-type: none"> 今回の説明は、全国的に見て、先駆的な取り組みとの感想をもっている。心配なのは、パワーポイントの p44 の説明で、提案された治水対策の実現性の中で、確実性（担保性）、経済性、技術面、環境面とさらに市民の合意が重要と思いますが、H. 19. 5 に基本方針の原案を作成し、12月までに基本方針（案）を作成するスケジュールについて、関係者が理解して進めていくには、大変難しく、期間が短いのでは。 一般的には、マスタープランを作って、その後、具体的なプランをつくる。30年の計画の中で、1/2等の計画に取り組んでいく必要があるのでは。地に足がついた、「押さえ」をどうするのか。基本方針をつくっても今のスケジュールでは、砂上の楼閣では。
1 6	<ul style="list-style-type: none"> 学校貯留ができるとの認識は、基本的に誤っている。地域の方は反対する。学校はきいても、地域の住民はきかない。今回の宮崎県の知事選をみたらわかるでしょう。そういった認識をもって欲しい。 学校は洪水の避難所、学校に水をためる以外に他に方法はないのか。水田に水が入るとだめである。せっかくの良い案でも当事者は納得しない。
1 7	<ul style="list-style-type: none"> 流域委員会のメンバーについて。阪神間の委員はたくさんいるが、三田市は影響水田流域の2/3を占めるのに、一人。三田市の意見が少ないのでは。
1 8	<ul style="list-style-type: none"> 浸水想定区域図に、これだけ色がついているのは、県はどう考えているのか憤りを感じる。山田川等での河川改修は感謝しているが、河川改修に限度がある点に関して、まだまだ、実施すべき箇所があるはずである。安心・安全をどう解消いくかの方策があって、田んぼの協力ができるのではないか。
1 9	<ul style="list-style-type: none"> 委員会の提言、県の対応もよくできている。ただ、上流の三田は、洪水の心配はないので、できれば武田尾の環境のために、新規ダムは必要ない。

「武庫川総合治水の推進」説明会 三田市会場での主な当日発言

20	<ul style="list-style-type: none"> • 皆さんを励ましたい。S. 42. 7の豪雨で家が浸水を受けて、それで治水に目覚めた。一般の人々は、道路に関心はあっても、河川は関心がないものである。上流だけではなく、下流も一緒にやらないとだめである。大水がでない駄目である。今日の話でも、県が良く考えてくれているのは感心する。目立たないけど大変なこと、忍耐して、がんばって欲しい。 • 下流域は駄目だけど、三田はよくやっている。武庫川下流は、1/8で大変だけれど、ダムをつくらないでやって欲しい。 • 三田の水田は、2反で整備され、きちっとしているので水がたまる。100mmが降っても10cmなので、大丈夫。それより、たんぼを維持することが、大事なこと。 • 自分だけでなく、地域を安全に。ダム以外で、あらゆる方法を考えて欲しい。皆さん、見えないところでやるのはしんどいけれど、(河川管理者として)がんばって欲しい。私も精を出したい。
21	<ul style="list-style-type: none"> • 様々な角度で説明してもらってよくできているなあ、との感想である。ニュータウンに住んでいるが、三田の農村部の出身です。小学校の頃、大雨の時に、たんぼも、川も、道も池になった。通常でない体験は興味があった。水の怖さを体験しながら過ごしたものである。この状況は、阪神間にも多くあったと思う。 • 23号台風の時、武庫川の水位が警戒水位を1.5から2.0mと大きく越えたと聞いており、下田中周辺も見て回った。三田もあと一時間降り続けたら、河川の水位が堤防を大きく越えそうでした。携帯電話で高齢者に、危険を感じたら避難するよう、呼びかけた。子供の時見た一面川の状況であった。車が行けない中、三田市の人が、この中で見て回っていた。下流は、もっとすごかった、と推測します。 • 水田の堰の件は、対象としている水田の約2/3が三田市である。個人によって広さも違う。水稻の補償もある。三田は、いかに水をためるかが、大きな役割である。農村の反応が気になる。地域によって大きな感覚のずれがある。旧市街地と農村の意見が重要。 • 大雨が出て、水田を見に行行って死亡することも各地であるので、農村の方の怪我、事故、命への補償をきちんと整備して望むべき。1/18か1/30かは別として、危機管理が第一。 • また、平時にどういった水辺にするかが大切。人工的に川をつくってよいのか。自然再生事業も全国的に見直しがされている。藍本の「石の堰」の再現は、川の掘削と同時に町中に必要。子供達にも必要。整備とともに、子供に安全な親水公園を考えていただければ。子供の遊び心、魚や虫とりが、郷土への愛着、思いにつながる。
22	<ul style="list-style-type: none"> • 根本的な話になるが、基本方針、整備計画の流量の精度が、4桁になっている。既往最大の流量が2桁、2,900m³/sであり、もっともらしい嘘がある。本来あるべき数字ではないのではないか。計画が狂っているのではないか。

「武庫川総合治水の推進」説明会 三田市会場での主な当日発言

	<ul style="list-style-type: none"> ● 自然の貯水機能は検討から外れている。やることが対処療法である。後手後手の対応ではなく、もっと前向きに対応をすべき。
2 3	<ul style="list-style-type: none"> ● 私は多くの環境問題に関わっている。田んぼダムは難しいとのことであるが、高平地区は、羽束川が流れており、地域の特徴は、農業に熱心で、堰板は難しくない。「里づくり協議会」でニュータウンの方々と一緒に農業体験をやっている。堰板の操作は誰かが不在や、できなくても、その時、代わりに共同でやっていける。ただし、高齢化が問題である。 ● 兵庫県は、「緑の環境税」を導入したが、これが約 20 億円/年ある。下流域で使うところはないので、上流で森林の保全や田んぼの補償に使えば、農家の方と話ができるのでは。三田の田んぼは、流域全体の 2/3 でウエイトが高い。活用すべきだ。
2 4	<ul style="list-style-type: none"> ● リバーミーティングに何度か参加した。提言を大事にして欲しい。神戸海洋気象台の方の説明や、気象予報士の話によれば、異常気象は差し迫っており、地球環境を考えると心配である。この事を中心に、どの対策を行うのか、兵庫県、政府で決めて欲しい。安心できない。23号のこともあり、総合的に考えるのであれば、何を一番最初にやってくれるのか。スケジュールも大切であるが、住民との対話を何度も行って、結論を急がず、大事なことをやっていきたい。ため池もそうである。やれば、効果がある。三田は、上流域に位置するが、上流、下流とはっきり分けられない。甲武橋だけではない。急がないといけない。
2 5	<ul style="list-style-type: none"> ● プリミティブな質問ですが、流量の単位であるm³/sは、すっきりしない。同時に、実生活では、何 mm とか、継続時間を合わせて示さないと、ほんまかいな、と思う。新しい認識を持って情報提供を行い危機管理をしないと、行政のこと聴きまへんで。
2 6	<ul style="list-style-type: none"> ● あらゆる選択肢がでていますが、川の掘削はできるが、学校や公園で水を貯めることはできるのか。ため池の費用も莫大では。東京都では、地下放水路をやっている。これも費用がかかっているが。有効に金を使ってほしい。
2 7	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校貯留については、この辺でもやっている。
2 8	<ul style="list-style-type: none"> ● 流域対策は、各対象施設に対して、本来の目的外の使用に関して、協力はするが、課題の解消を考えて欲しい。
2 9	<ul style="list-style-type: none"> ● この 60~70 年の間に 3 回ほど堤防が決壊した。H. 16 23 号台風の時に、夕方の 4 時過ぎに、田中地区でのことですが、避難すべきかどうか、で大変なので県の土木事務所に、羽束川の洪水状況について、問い合わせを行ったが、担当がいないのでわからない、との回答。対応に問題があると思う。

「武庫川総合治水の推進」説明会 三田市会場での主な当日発言

30	<ul style="list-style-type: none"> 流域委員会のメンバーをみると、環境関係保護団体やメンバーが目立つ。流域対策の中で、H. 16 の 23 号台風の経験から、ため池や農地は治水対策に役立つのか疑問である。排水路も含めて危険になり、実現性が怪しいとの印象を受けた。提言の中で、この地区での自然環境として、森林に対する保全を大きく考えるべきとの印象を受けた。荒廃している森林保全を実施して、さらなる総合治水対策が構築できるのでは。委員会のメンバーは、もう少し地域的にバランスがとれた構成が良かったのではないかと、との印象である。
31	<ul style="list-style-type: none"> 羽束川の浸水想定区域図を見ているが、上流の大阪府から流れてきた水で、武庫川の三田流域は大雨のたびにあぶない。自然は怖い。治水対策を一番基本に考えてほしい。浚渫の話で、河床に葦が生えている。これを除去する方法。川のセンターに水を流す方法、片側ずつを整備する方法、河床掘削、拡幅がある。現在は、堆積物の除去が問題。 23 号の時、小柿の避難箇所へ 23 名避難した。その時に、川を巡視した際、川の水の高さが読めない。橋脚に高さを見れるように、表示して欲しい。昼は見れるが、夜は危ない。このような状況（大きな洪水）は、30 年毎ではなく、10 年を待たずして、起こっている。
32	<ul style="list-style-type: none"> 流域対策の説明をいただいた。羽束川は、武庫川の本流と違い、急流で増水時間が早い。学校の貯留の中で、三田市は 30 箇所となっている。高平小学校については、避難所に指定している。これは大きな課題である。 中流で山あい位置している。老朽ため池がたくさん点在している。これらを検証していただいて、役立てていただきたい。23 号があって、区長が心配している。整備されていないため池を整備すると、治水に役立つのでは。
33	<ul style="list-style-type: none"> 一時間の説明で意見を求められてもわからない。これを作ったので、これに従ってください、というのが基本。 48 番のスライドの課題の中に、水田貯留の確実性、安全性の次に、水田が永久に保全されるか、となっているが、水田の保全は農業がどれくらい続けられるのかにつながる。 学校、公園貯留のイメージがわからない。三田で必要なのかと感じる。 森林の機能の維持。流域の 63% と言いながら、これを先送りするのは、何なのか。こっちの方が大事。 本庄に住んでいるが、武庫川の浚渫に関心を持っている。村で説明されていない。県は、提言が出たから説明するのではなく、地元に入って、意見を聴いていかないと成功しない。 行政のパブコメは、形式的に 1~2 件集まるとそれで終わりではなく、住民の中に入って、汗をかいて実効性を上げて欲しい。

「武庫川総合治水の推進」説明会 三田市会場での主な当日発言

3 4	<ul style="list-style-type: none"> ● 最近、側溝が良くなって、高い山のあたりの開発と三田の昔の低いところの落差がある。側溝の幅を広げず、改修した。玄関の前の溝に、水が集中した時に、流れる量が、2~3倍となっている。旧市街地は、武庫川から駅側は、武庫川の底の改修後、水がつかない。三田市の昔の警察署の方は、落差がなく、水が淀み流れない。側溝の改善と、アスファルト舗装になったりして、側溝で吐ききれない水は道路についてくる。
3 5	<ul style="list-style-type: none"> ● 非常に大きな話である。この流域委員会に、一番災害に心配な区長や、自治体の首長さんが入っていない。今からでも、そういった人の意見を十分聴いて進めて欲しい。 ● 環境の話が出なかった。植物、生物を守る話が少なかった。23号の前に川の浚渫をしたが、道路のように平べったくなった。年間を通して全体的に水が枯れている。これが大事な所。アシが一杯生えてきている。そういうことなのに、堤防に花を植えている。身近な問題の話をもっと聴きたかった。幸い23号の後、平たい川底に大きな溝ができて、そこを流れている。これを上手に利用してください。中州も砂を盛るのではなく、川底や土手に石を固めたりして、配慮してほしい。 ● 風船ダムを倒すと、貯まっていた上流の砂が、全部下流側に流れて、下の水たまりが埋まってしまい、魚が住めないし卵を産めない。淀んだ箇所が無くなる。かつては、中州があって、柳があり、根が深くて魚が住めた。川の作り方は大事である。このことは、日本海へ流れている川では研究しているが、兵庫県の南部では考えていない。今日の話は、災害ばかり、それも大事だが、市民の住んでいる場所を快適にすることを考えて欲しい。そういったことも今後、ご配慮いただきたい。
3 6	<ul style="list-style-type: none"> ● ポイントは、甲武橋でいくら流すのか、下流域が安全か、の話なので、1/18で3,449m³/sで良いのかということについては、私たちは、三田に住んでいるので、ここは、水に浸かることがないので判断できない。浸かる人の判断になる。 ● 流域対策の案、将来の担保の件の検証について、私はできないと思う。
3 7	<ul style="list-style-type: none"> ● 説明のパワーポイントの45番について、流域委員会の3,449m³/sは1/18、今までは、1/30を目標に整備してきたので、上下流のバランスを考えると1/30が必要となる、と読み取れる。H.16の23号パターンだと、甲武橋下流は1/8で危険となるが、過去6~70年の間、堤防から水はあふれていない。 ● H.16の23号の前は、S.58か59年の台風では、1/17である。もとの雨がかわるだけで、1/17から1/8との誤差が出る。1/18は、大きな対策である。1/18だとかなりの雨でももつ安全度である。

「武庫川総合治水の推進」説明会 三田市会場での主な当日発言

- | | |
|----|--|
| 38 | <ul style="list-style-type: none">• たまたま、神戸新聞で説明会の記事を見て来ました。三田で開催する理由は、水田が多いからと聴いた。背景に、武田尾のダムありきで流域委員会をつくった。最終的に、武庫川ダムの中止の話も凍結の話も聴いていない。最終的には、武庫川ダム案として残っているようである。流域委員会でのダムは、千苺ダムの多目的利用であることを武庫川ニュースで見た。千苺ダムでは、足りないので、三田に水田が多く、水田で貯留したいので説明を行っている
と推測している。 |
|----|--|